

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 子どもを守り 育てます
- 2 子どものために研鑽を積みます
- 3 子どもと真摯に向き合います

不祥事根絶のための行動計画

教育のプロとしての誇り

—教師こそ最大の教育環境—

府中町立府中中央小学校
作成責任者 校長 有崎 美紀

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○教職員としての自覚と使命感をもち、当事者意識を高める必要がある。 ○個人情報の管理方法の周知、徹底及び管理意識を高める必要がある。	○服務研修の方法や内容を見直し、自分だったらどう行動するかを具体的に考え交流できる研修を実施し、研修効果が実感できるようにする。 ○整理整頓をし、個人情報管理を徹底する。	○服務研修の方法や内容等を改善する。危機感、根絶する意志を確認できるような研修も設定する。 ○退校時に、机の上、机の下整理を行う。（毎週金曜日：整理整頓の呼びかけ）	○学期に1回以上、服務研修についてのチェックリストを行う。 ○月1回、職員室、教室、教材室の整理状況を確認する。 ○校内巡回
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止委員会の充実を図る必要がある。 ○生徒指導及び保護者対応等において、情報交換を密にし、共通理解のもと、組織で対応していくことが必要である。	○不祥事防止委員会を定例に開催し、情報の共有の徹底を図る。 ○職員が顔を合わせ、コミュニケーションを図り、合意形成しながら、組織で仕事を進めていく。	○不祥事防止委員会で、教職員・児童等の状況について情報交換を行い、取り組み方法などを検討する。 ○学年部会や分掌部会で互いの進捗状況を確認し、報告・連絡・相談の徹底を図る。	○不祥事防止委員会で、状況を把握する。 ○月1回学年主任会で、各学年の校務及び指導内容について周知・確認を行う。 ○週1回、学年部会や暮会時に学級の様子についての情報交換を行う。
相談体制の充実	○「体罰・セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知はしているが、相談は少ない。 ○子育てや子供に関する心配事の相談が少ない。	○「体罰・セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○安心して相談できる場の工夫をし、相談しやすい雰囲気をつくる。	○校舎内全教室にポスターを掲示し、担当職員を明示する。 ○学校だよりで窓口の紹介を行い、周知を図る。 ○地域の関係機関との連携を密にし、相談できる場の周知を図る。	○学期末に児童・保護者・教職員を対象にアンケートを実施する。 ○関係機関との連携会議をもち、情報を共有する。